

■事業の方針

団体の定款に定めるところにより、不登校状態にある児童生徒の自主・自立の支援ならびに、発達障害の子ども支援およびかれらの保護者支援のため、以下に掲げる事業を展開する。

- (1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営
- (2) 青少年等への学習およびコミュニケーション支援
- (3) 青少年およびその周辺の人々に対する生涯学習の機会と場の提供
- (4) 教育や不登校、子育ての悩みなどについての相談および支援・情報提供活動
- (5) その他の事業

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

不登校状態の小・中・高校生(20歳以下の子どもを含む)に対し、以下のような体験型学習の取り組みを通じ自己肯定感を高められるよう支援を行っていく。

- ・身体及び五感を使う屋外レクリエーション・音楽・美術・調理・農業などの活動を月単位で企画実施する。
- ・関西圏の民間スクールとともにスポーツ等の取り組みを企画・実施する。
- ・スクールの年中行事として、野外活動、旅行行事、文化祭を行う。内容については利用者が主体となって企画し実施できるようにする。
- ・利用者が、地域活動または地域貢献できる学びの場を随時企画、提供し実施する。
- ・地域の支援者・団体等と協働し、利用者が地域で活動したり職業体験したりできる機会を設ける。

(2) 青少年等への学習およびコミュニケーション支援

不登校の児童・生徒の基礎学習支援として以下の取り組みを行う。

- ・小・中学生に対し、週2日プリント学習、読書、WEBツール等を使用して基礎学習の支援を行う。
- ・兵庫県立青雲高校並びに代々木高校と連携し、毎週火・木曜日の午後に、神戸垂水サテライト教室を開く。そして高校生に対して所属校のレポート学習をサポートする。

小学生(発達障害の子どもを含む)の支援として以下の取り組みを行う。その際、発達障害の子どもの学習支援については垂水区社会福祉協議会との協働で事業を実施する。

- ・毎月第4土曜日の午後に、『土曜クラブ』というプログラム名で、利用者の子どもが、ソーシャルスキルを身につけられる、体験型のプログラムを実施する。
- ・毎週水曜日の夕方に、『放課後クラブ』というプログラム名で、利用者の子どもが学校の課題や自主的に設定した基礎学習を学ぶことができる学習スペースを開設する。

(3) 青少年およびその周辺の人々に対する生涯学習の機会と場の提供

不登校や発達障害をはじめ、青少年教育の諸問題について、以下の取り組みを行う。

- ・関西の民間スクールが合同で実施する勉強会、ワークグループ、運営会議等に参加し、教育に関する諸問題を学ぶ場を年に数回設ける。
- ・スクール卒業生が主体となって参加できる場(卒業生による模擬店の実施や彼らの専門性を活かしたプログラムの実施)を通じ彼らのフォローアップと、現在スクールを利用している子どもの支援を行う。

(4) 教育や不登校、子育ての悩みなどについての相談および支援・情報提供活動

不登校等教育に関する相談及び支援を行うため、以下の取り組みを行う。

- ・毎月第4土曜日に不登校親の会、隔月第1土曜日に発達障害親の会を開催する。
- ・平日は、電話・メールによる相談支援を行う。また希望者には対面での相談支援や情報提供を行う。
- ・フリースクール全国ネットワーク、ふりー！すくーりんぐ、兵庫教育大学ボランティア支援室等と連携しながら、団体情報を発信し、不登校をはじめとする教育に関する情報交換に積極的に取り組む。
- ・不登校や発達障害に関する講演会や講座を学期単位で企画実施する。
- ・年4回、団体機関紙『ゆう通信』を発行し、NPO会員、支援会員、通信会員、その他関係各所へ送付する。
- ・従前のWEBサイト(公式HP、あいこぎブログ、SNS等)の更新・管理及び情報配信を積極的に行う。

(5) その他の事業

法人の定款第3条の達成に必要な事業および(1)～(4)に附帯する事業として以下の事に取り組む。

- ・関係団体と協働し、行政等にスクール利用者の権利(小・中学生の出席認定や高校生を含めた定期券発行)を認めてもらえる環境作りに努める。
- ・各事業並びに新規の事業を企画するにあたって、内部でワーキンググループ(プロジェクト会議)を立ち上げ、随時協議を行う。
- ・団体関係者の資質向上につなげるため、内閣府やNPO法人フリースクール全国ネットワーク等が主催する研修会等へ参加する。
- ・青少年や発達障害の子ども支援やNPOの運営改善に関わる助成金に申請する。
- ・市民活動応援ネット『つなごう神戸』の評議会に参加し市内の市民活動促進に貢献する。
- ・青雲高等学校評議員に参加し、通信制課程で学ぶ高校生の支援を行う。
- ・フリースクール全国ネットワークの理事会に参加し、全国的な不登校問題の環境改善に貢献する。
- ・これまでに法人全体の活動で蓄積してきたノウハウを、他団体や地域へ還元するための取り組みを行う。
- ・団体発足20周年記念事業を行う。